

学校長 様  
担当者 様

公益財団法人 日本ライフセービング協会

## ウォーターセーフティプログラム研修会のお知らせ

スポーツ庁委託事業 令和5年度 令和の日本型学校体育構築支援事業

～学校における水難事故防止対策の強化～

この度、教員、並びに学校から水泳学習を受託する指定管理業者やスイミングスクールの指導者、ライフセーバーを対象とし、児童生徒への水難事故防止教育への指導を前提とした「ウォーターセーフティプログラム研修会」を実施します。

近年、学校体育における水泳授業の実施が様々な理由から困難になってきている状況があります<sup>\*1</sup>。限られた授業時間数の中で「安全確保につながる運動」や「水泳の事故防止に関する心得」をどのように展開していくかは、日本の水難の概況（警察庁）<sup>\*2</sup>を鑑みても重要な課題といえます。

令和4年度の実践研究校での実績を元に<sup>\*3</sup>ICT教材の「e-Lifesaving」を活用した指導上の工夫や留意点などを中心に、座学を60分行った後、プールでの実技90分を予定しています。泳ぎの苦手な児童生徒でも、主体的に取り組める「ライフジャケット」を活用した内容を中心に展開します。是非、ご参加ください。

### 記

- ◆主催 : スポーツ庁／公益財団法人日本ライフセービング協会
- ◆日時 : 2024年1月31日(水) 1部 座学 15時00分～16時00分  
2部 実技 16時00分～17時30分
- ◆場所 : イトマンスイミングスクール 柏の葉校  
柏市十倉二翁台 363番地 11中央 221街区 2  
04-7134-5538  
※当日は休館日の為、上記電話番号はつながりません。  
緊急の連絡は、担当者 イトマン受託事業部 井上 090-1958-4608 まで  
※つくばエクスプレス「柏の葉キャンパス駅」 徒歩約8分  
※駐車場 約50台
- ◆参加費 : 無料
- ◆持ち物 : 水着、スイムキャップ、(ゴーグル)、タオル、筆記用具
- ◆修了時 : 日本ライフセービング協会より修了証とクリアファイル、ジュニアテキストを差し上げます  
事後に簡単なアンケート調査にご協力ください。
- ◆申込 : Google フォームからお申し込みください  
<https://forms.gle/NknE5AC2GgrE8N9UA>

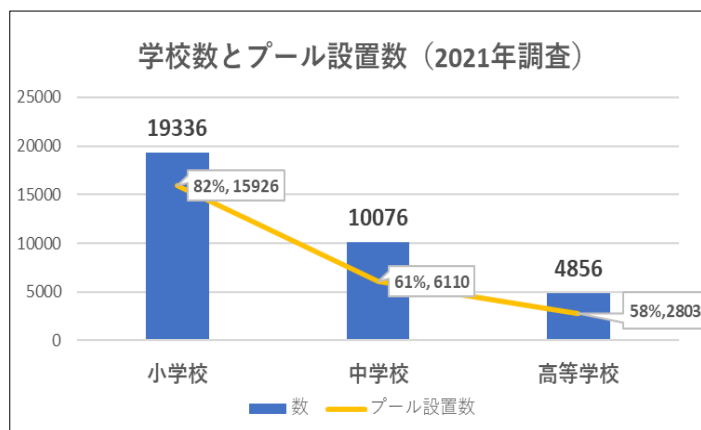


お問い合わせ先: 公益財団法人 日本ライフセービング協会  
事務局担当 佐藤洋二郎 03-6381-7597

[sato@jla.gr.jp](mailto:sato@jla.gr.jp)

### 【参考】

※1

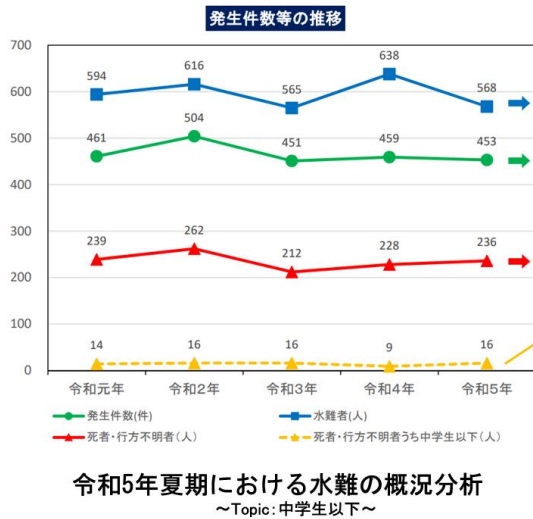


### ◆水泳授業の課題

- ①プール設置率は72% (小中高)
  - ➡ さらに減少の一途 (老朽化、維持費膨大)
- ②98%が屋外プール
  - ➡ 猛暑、雨天、落雷、熱中症アラート
- ③教員の過負担や資質の問題
  - ➡ 清掃や水質管理、安全対策や水泳指導に自信が持てない
- ④水難事故防止教育の課題
  - ➡ 「背浮き」「浮いて待て」の体験で本当に事故は防げるか？  
プールの無い学校で水泳運動の心得をどう教えれば良い？

# 子どもの溺水の実態と要因、課題

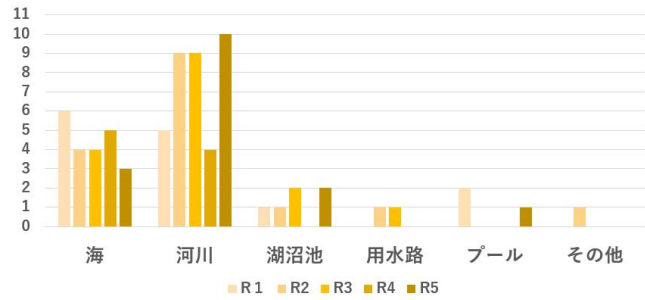
警察庁生活安全局生活安全企画課  
令和5年9月13日より引用、作成



中学生以下は**106人** (18.7%) 前年対比-14人

中学生以下は**49件** (10.8%) 前年対比-1件

中学生以下は**16人** (6.8%) 前年対比+7人



令和5年夏期における水難の概況分析  
～Topic: 中学生以下～



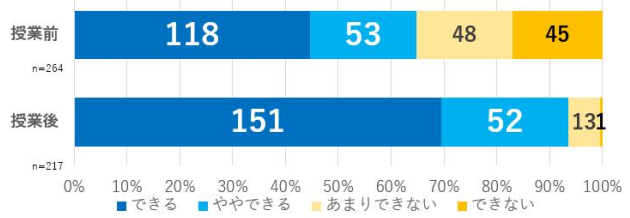
## ※3 ▼▼令和4年度 実践研究校におけるウォーターセーフティプログラムの実施より▼▼



水辺に関わるすべての人が支えあう「事故ゼロ」の社会へ

e-Lifesavingの実践検証

### Q.ライフジャケットを正しく着て、活用することができますか？



**「ややできる」以上が59%→80%に上昇**  
e-Lifesavingを通じてライフジャケットの正しい着方と必要性を実感。プール実技が無くても学びの効果は得られる。



**「ややできる」以上が64.8%→93.6%に大きく上昇**  
実技を併用することでより高い教育効果が得られる。外部委託の際にも学校と委託先と連携し、実践してほしい水難事故防止教育。



e-LifesavingとWSプログラムを実施することで、水難事故防止への高い学びの効果を得られる

